

発行所  
株式会社 日報アイビー  
Vision Vitality Victory

<東京>〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-1-5  
電話03(3262)3488 FAX03(5214)6633  
<大阪>〒541-0054 大阪市中央区南本町1-5-11  
電話06(6262)2406 FAX06(6262)2090  
<広島>〒733-0861 広島市西区草津東2-2-38  
電話082(274)2650 FAX082(274)2651

5月31日 No.1010

-----2010年(平成22年)-----

週刊 月曜発行

発行人 小田 太一

平成元年9月22日 第3種郵便物認可

購読料 年間 24,000円(前納)  
1部 520円

週刊

# 循環経済新聞

The Recycling Economy Times

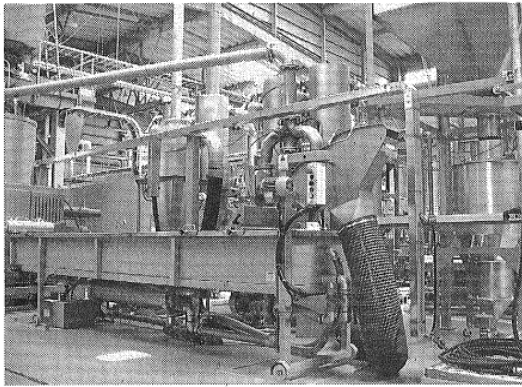
協栄産業

## バージン同等の再生PET

### 再縮合重合反応方式を採用

#### 日本初、用途の幅が格段に向上

プラスチック再生加工販売などを手掛ける協栄産業(本社・栃木県小山市、古澤栄一社長、☎02665・22・7980)は、再縮合重合方式を用いてリサイクルPETペレットを連続でつくる設備の最新鋭の2基目を同小山工場内に設置、稼働を開始した。5年前に日本で初めて1号機を同小山工場に導入して技術確立に努め、事業化のめどがたった。今後は、2基の設備で高品質原料の安定供給が可能となるため、幅広い用途開拓に弾みをつける。



再縮合重合設備

従来のリサイクル技「有機化合物などの有で使用用途が限定され術では「ペレット製造 害化学物質を完全に除去」これに対しては、再縮合重合反応方式は、これらの問題点の克服が可能となり、バージン原料代替品として幅広い用途で使えるようになったもので、日本では初の取り組みとなる。

今回、同社が採用した再縮合重合反応方式は、世界的にみても米国や欧州のごく一部などではしか使われていない新しいリサイクル手法。アルカリ洗浄などであらかじめ極限まで物理的な異物を取り除いたビニリアなPETフ

レックを真空・高温という特殊な条件下で再縮合重合反応を起し、再生ペレットにまで加工する。これにより、物性面で重要なIV値(固有粘度)は用途に応じて0.55~0.85の範囲で制御でき、同時に残存した有害な化学物質などの異物もガス化して除去することになる。同社では安全性の検証にも最大の注意を払い、欧州最大の検査機関でありFDA(米食品医薬品局)の認定検査機関でもある独フ라운ホーファー社でFDAの認証をクリアできることを確認している。

古澤社長は「今回採用した『メカニカルリサイクル』の手法は、大きなエネルギーをかけることなく、PET樹脂と大差なく、CO<sub>2</sub>削減にも貢献するだろう」として

いる。